



「地質の日」と「鳥取県の石」

近年、何かが始まった日を「〇〇の日」として制定し、広く一般に普及させる傾向があります。「地質の日」もその一つです。1876年（明治9年）の5月10日にアメリカの地質学者ライマンらによって、日本で初めての地質図（日本蝦夷地質要略之図）が刊行されました。このことから、5月10日が「地質の日」に選ばれました。地質は、金属などの鉱物資源や温泉など私たちの暮らしに豊かな恵みを与えてくれるだけでなく、地震や山崩れなどの災害ももたらします。つまり、地質は私たちの暮らしに深く関わっているのです。全国各地で、地質をより身近に感じ理解を推進する日として、5月10日を中心にさまざまなイベントや活動が行われています。

さて、2016年5月10日、日本地質学会が全国47都道府県で特徴的に産出、発見された「岩石」「鉱物」「化石」を、それぞれ「都道府県の石」として選定しました。「鳥取県の石（岩石・鉱物・化石）」として何が選定されたかご存じでしょうか。

「岩石」としては、「砂丘堆積物」が選ばれました。主に鳥取砂丘を構成する砂ですが、定義上は岩石ではありません。しかし、鳥取県を代表する地質として選ばれました。鳥取砂丘の砂の主な供給源は、中国山地の花崗岩類です。約5万年から6万年前に大山が大噴火しました。そのときに降灰した火山灰（大山倉吉軽石）層などを中心に、新砂丘層と古砂丘層に分けられます。当館でも、鳥取砂丘の地層の剥ぎ取り標本を展示しています（写真1）。

「鉱物」は、「クロム鉄鉱」が選ばれました。日南町多里の若松鉱山は、国内最大規模のクロム鉄鉱山で、戦前、戦時中の最盛期には国内生産量の約半分を担っていたそうです。山陰海岸ジオパークのエリアではありませんが、鳥取県を代表する鉱山で、2008年に「近代化産業遺産群（経済産業省）」に認定されています。

「化石」は、鳥取市国府町で主に産出する「中新世魚類化石群」が選ばれました。約1700万年前の新第三紀中新世と呼ばれる地



写真1：砂丘堆積物の剥ぎ取り標本



写真2：中新世魚類化石のミヤノシタサツパ
（鳥取県立博物館蔵）

質時代の地層から発見された十数種類の化石群で、保存状態がよいことで知られています。これらの化石は、日本海拡大の頃の地層から発見されており、当時の海の環境や生物の進化のプロセスなどを知る貴重な手がかりとなっています。当館でも一部の化石（鳥取県立博物館蔵）を展示していますので、ぜひご覧ください（写真2）。

このように、鳥取県の石として山陰海岸ジオパークのエリア内から、「砂丘堆積物」と「中新世魚類化石群」の2つが選定されています。（裏へ続く）

山陰海岸ジオパークエリア内では、兵庫県の石（岩石）として、豊岡市の玄武洞で見られる「アルカリ玄武岩」も選定されています（写真3）。玄武岩という石の名前は、この玄武洞に由来します。また、玄武洞は第四紀という地質時代の岩石では、初めて地磁気の逆転が発見された場所としても知られています。石の名前や地磁気の逆転に関する詳細は、別の機会に述べたいと思いますが、当館では、鳥取県と兵庫県を代表するこれらの3つの石（岩石・化石）が見られますので、ぜひご来館ください。



写真3: 展示中のアルカリ玄武岩

(兵庫県豊岡市玄武洞)

標柱、建物の建材、お墓などさまざまな物に石は利用されています。しかし、普段は石として意識して見ていないのではないのでしょうか。「地質の日」が制定されているこの時期に、身の回りの石を意識して見てはどうでしょう。意外なところに利用されていたり、私たちの暮らしとのつながりに、新たに気づかされるかもしれません。

～ハマナスが咲いています～

当館の事務室の横に、ハマナスの木があります。バラ科の落葉低木で、春から夏にかけて赤紫色の花を咲かせます。4月末にはつぼみばかりでしたが、ようやく花が咲き始めました（写真4）。つぼみもたくさんありますので、これから次々と花を咲かせるでしょう。しばらくは、赤紫色の花を楽しめそうです。



写真4: 自然館に咲くハマナスの花(5月6日撮影)

ところで、ハマナスは寒い地方に咲く花で、氷河時代に南下して自生したと考えられています。太平洋側では茨城県鹿嶋市、日本海側の海岸では鳥取市の白兔海岸と西伯郡大山町に南限地があり、いずれも国の天然記念物に指定されています。その語源は、「ハマナシ（浜梨）」の訛りとする説（東北地方では「シ」を「ス」と発音する）と、「浜辺のナス」から「ハマナス」となった説があるそうです。どちらの説が正しいか定かではありませんが、果実の味はナシに似ているので、「ハマナシ」が訛ったという説が有力のようです。

西日本の海岸では、ほとんど見ることがない花です。この時期にぜひご覧ください。

= GW 企画 ものづくり講座へのご参加、ありがとうございました。 =

GW企画として、ものづくり講座「DO! 折り紙～海の生き物を作ろう～」と「不思議なステンドグラスを作ろう」を開催しましたところ、県内外から多くの来館者の方々にご参加いただきました。ステンドグラスの製作では、定員を超える参加申込をいただき、ありがとうございました。今後もこのような講座を継続していきたいと考えておりますので、ぜひご参加ください。なお、折り紙につきましては、体験コーナーでいつでも折ることができますので、スタッフにお声かけください。

6月は下記のイベントを開催します。ご参加をお待ちしております。（安藤）

- | | | | |
|------------|-------------|---------------------|-------------|
| 6月 2日 (土) | 19:00~21:00 | 天体観望会「ジオパークの星空観望会」 | ※申込不要 |
| 6月 9日 (土) | 9:30~12:00 | 山陰海岸ジオハイキング 羽尾岬コース | ※定員20名(要申込) |
| 6月 24日 (日) | 10:00~12:00 | 山陰海岸ジオハイキング 雨滝散策コース | ※定員20名(要申込) |
- 詳しくは、イベントチラシ、当館HP (<http://www.pref.tottori.lg.jp/255369.htm>) をご覧ください。